

気仙沼・南三陸 OT ブロック会 報告

日時：2012年8月31日（金） 19：00～20：30

場所：気仙沼市立病院リハビリテーション室

参加者：OT 13名（うち非協会員 2名） 計 13名

内容：症例検討

発表者：介護老人保健施設歌津つつじ苑 粕谷佳史

「自主トレ指導を通して転倒リスクが軽減した症例」

（介護老人保健施設はまなすの丘 嶺岸裕子）→東北学会口述発表の練習

「被災施設における一作業療法士の震災後の行動」

アドバイザー：気仙沼市立病院 高橋美帆

今回は症例検討を1症例と、東北学会参加への練習を兼ねた発表を行いました。症例検討では「施設入所者のリハビリを行う際に、どのようにしたらモチベーションを高く保てるか」といった点に質問や意見が多く出されました。リハビリへの意欲作りは、各領域にて回復を左右するポイントともなります。高齢者施設では長期間にわたる入所によって、その人が生活を営む場所になるからこそ、意欲の引き出し方・保ち方がリハビリや生活を送る上でより重要になってくると考えられます。その取り組みの一つとして、自主トレをしっかりと指導してリハビリへの満足感を補うといった話がされました。

発表練習では、色々なアドバイスがあり、発表当日へ向けてよりブラッシュアップできることとおもいます。

沢山の方々のご参加、ありがとうございました。